

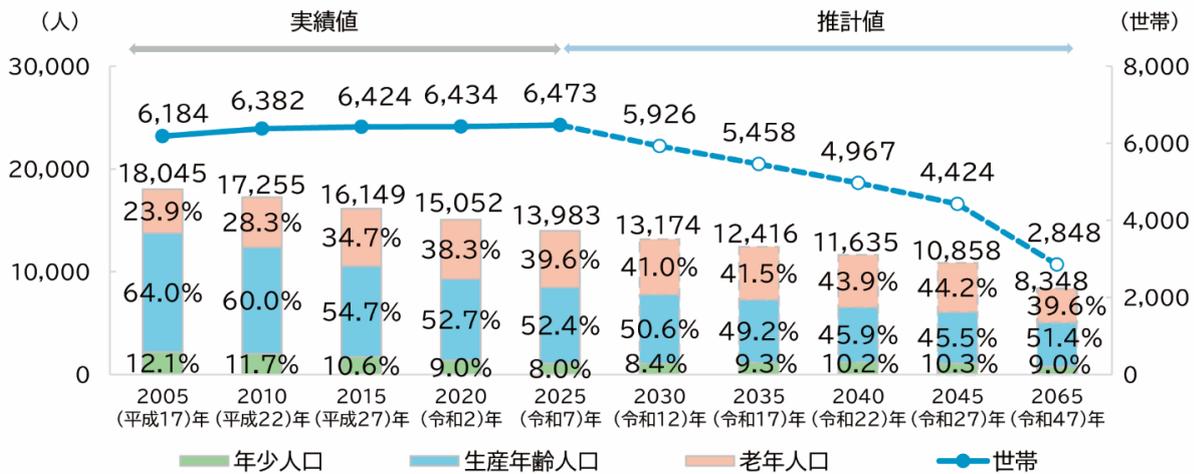
8 水橋地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で13,983人、高齢化率は39%と高く、今後の人口減少の進展により高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

沿岸部では、水橋漁港を中心に、神社や歴史的建造物などが立地する港町の街並みが形成されています。また、新鮮な海産物を提供する食堂が漁港に隣接し、水産加工品に関する観光施設も立地しています。さらに、地域固有の祭りも行われています。

③自然・レクリエーション・景観

海洋レクリエーションの拠点である水橋フィッシャリーナが整備され、親水防波堤での釣りや散歩を楽しむことができ、豊富な地下水を活用した温泉施設も集積しています。

また、地域内には、富山湾、常願寺川、豊かな田園があり、立山連峰を一望することができ、農地の大区画化、スマート農業の導入による農作業の効率化や新規就農の確保などにより、豊かな田園風景を守る農業振興に向けた取組が進められています。

④公共交通

あいの風とやま鉄道線の水橋駅や富山地方鉄道本線の越中三郷駅が立地し、バス路線や水橋コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である水橋駅周辺を中心に、義務教育学校である水橋学園が立地し、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、国道8号沿線や常願寺川沿いには、企業団地が整備され、工業用地が広がっています。

また、畑や水田などの農地が地域の5割を占めており、市平均より割合が高くなっています。

⑥災害リスク

富山湾、常願寺川、白岩川などに隣接し、木造住宅の密集地などもあることから、豪雨時の洪水の影響や地震時に短時間で到達する津波などの懸念があります。

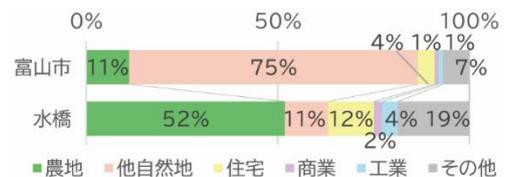
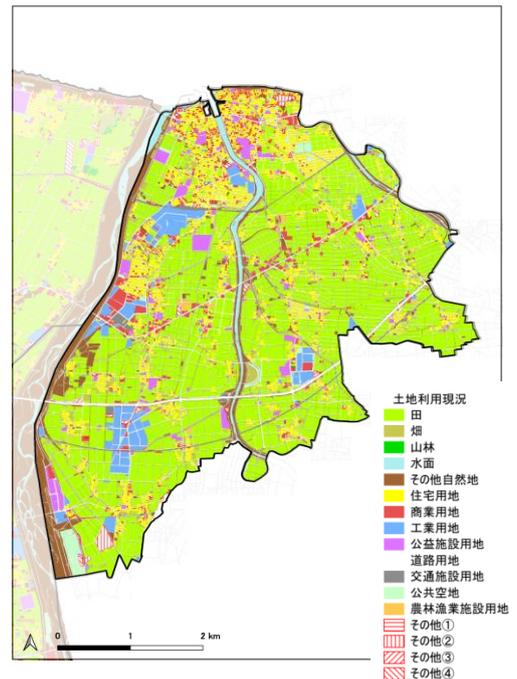
⑦生活行動

日常の買い物の約6割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院は2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、沿岸部の和合地域や富山北部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇豊かな自然 （海・山・川の資源や風景、立山連峰などの眺望、水橋漁港や温浴施設などの固有の施設）</p> <p>◇住みやすさ・暮らしやすさがある （複数の公共交通、水橋会館などの施設の充実、祭りなどを通じた地域のつながり、水橋学園の完成、農業漁業から工業団地まで働く場の充実）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『LOVE・元気・かけはし水橋』 『みずみどりが映える、笑顔があふれる、変化を恐れない楽しむ、よかったね水橋』</p>

(2) まちづくりの目標

水橋地域では、海や川の豊かな自然環境やレクリエーションの場、産業の集積などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな自然環境やレクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

水橋駅周辺において、生活機能などを維持するとともに、水橋漁港や白岩川周辺の水辺空間、新たな公園などの自然環境やレクリエーションの場を活かし、市民や来街者の都市活動を生み出す地域拠点を形成します。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道や富山地方鉄道本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

水橋駅周辺の市街地や既存集落（宅地）などを結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 海岸などの自然環境や水田など営農環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 国道8号との結節性を活かした産業集積の保全や誘導

国道8号との結節性を活かし、産業集積の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺から旧市街地にかけて地域生活拠点では、水橋中部地区センター周辺を地域商業地区として位置付け、風情ある街並みを活かしながら、既存の商店街などを中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・常願寺川沿いや（都）滑川富山8号バイパス線沿道の工業団地は、工業地区として位置付け、医薬品、水産加工物などの大規模工場や機械工業などの産業集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地として形成します。 ・地域商業地区周辺の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・水橋駅の北側の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。また、北側と南側を工業地区にはさまれた水橋中村付近の市街地は、一定規模の商業や生産を支えるサービス業が立地可能な住居地区として位置付けます。 ・工業地区周辺などは、複合用途地区として位置付け、工業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線及び富山地方鉄道本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線やフィーダーバスは、快適性の向上など機能強化を推進するとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や水橋コミュニティバスの機能確保に努めます。
- ・水橋駅周辺では、新たな市街地開発による歩行空間の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討を促進します。
- ・都心地区と拠点とをつなぐ（都）大正町池田町線・（都）大正町館町線などの整備を推進します。
- ・白岩川の河川改修に併せた（都）駅前出町線の水橋大橋の更新を促進します。
- ・陸橋の更新など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・水橋駅周辺のみどりの核としての水橋西公園を整備します。
- ・白岩川の河口部では、水辺とのふれあいなど親水機能の向上を図ります。
- ・常願寺川沿いでは、常願寺川緑地を核としてスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・白岩川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・下条川の治水機能の向上を図るため、上市川への放水路を整備します。
- ・常願寺川右岸では、堤防の強化を図るため、浸透対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・水橋浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

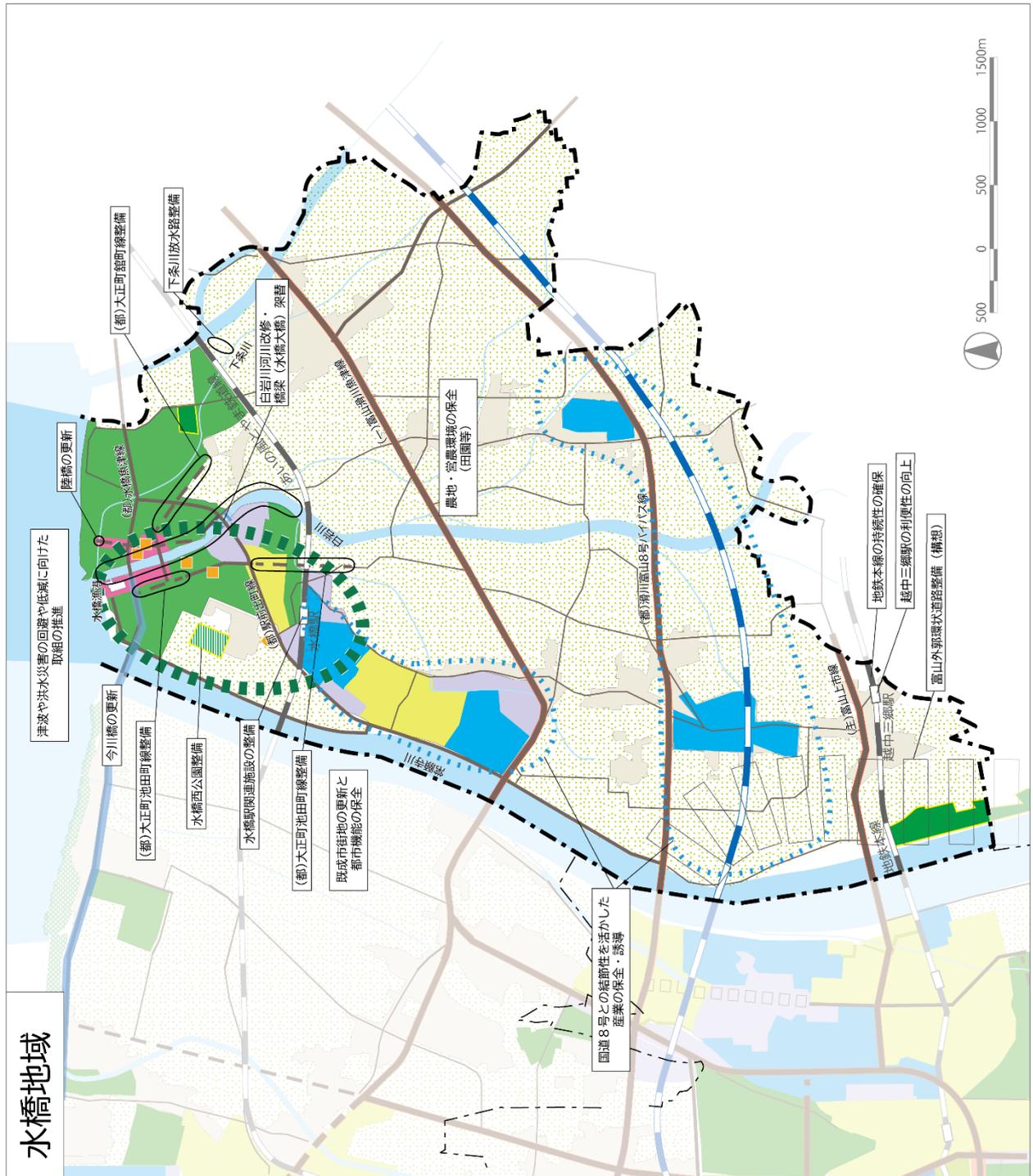
- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。

防災・防犯

- ・家屋が密集した市街地では、風情ある街並み景観の形成に配慮しつつ、不燃化建物への建て替え誘導など、火災に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波・高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

土 地 利 用	凡 例
地域商業地区	地域商業地区
工業地区	工業地区
住宅専用地区	住宅専用地区
住居地区	住居地区
複合用途地区	複合用途地区
農業保全地域	農業保全地域
集落地域	集落地域
水面	水面
鉄道	鉄道
新幹線	新幹線
広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
地区幹線道路	地区幹線道路
都市公園 (今後整備 ※事業中含む)	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
工業 地区(誘導・保全)	工業 地区(誘導・保全)
地域生活拠点(地域拠点)	地域生活拠点(地域拠点)
地域区分	地域区分
河川改修	河川改修
観光 の 主 な 拠 点	<ul style="list-style-type: none"> ★ 商業(スーパーマーケット)・生鮮食品取扱のドラッグストア) ■ 金融機能(銀行、郵便局、JJAなど) ⊕ 医療機能(内科)
フィッダーバス	フィッダーバス



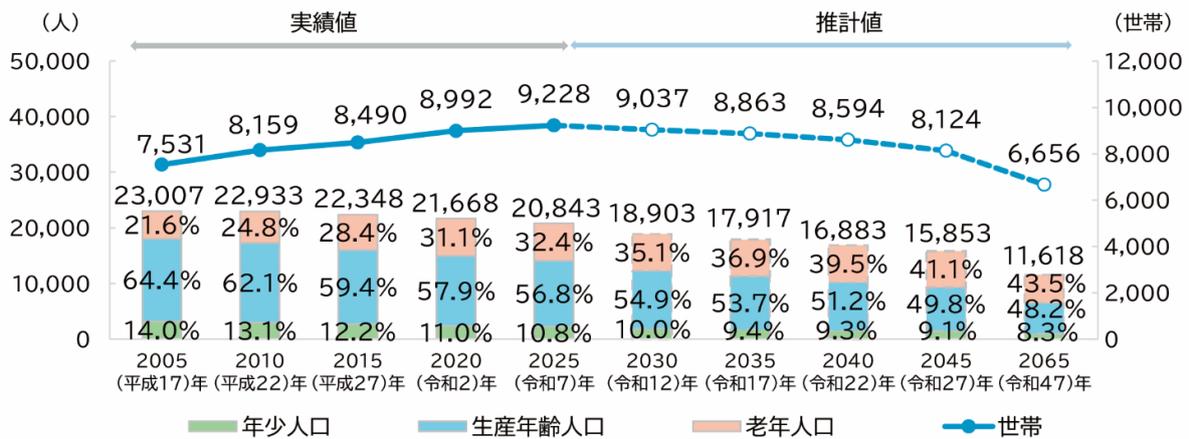
9 大沢野地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口は減少しており、2025（令和7）年の人口は20,843人、高齢化率が32%と3割を超えており、今後は世帯数が減少に転じ、高齢化率も4割まで高まる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、国指定史跡の直坂遺跡や国登録有形文化財の笹津橋などがあり、歴史的資源を身近に感じることができます。

また、船峯用水は、歴史の体験学習ができる貴重な文化資源となっています。

さらに、古くから伝わる祭りが地域の伝統文化として保存されています。

③自然・レクリエーション・景観

豊かな田園地帯を活かした農の恵みや特産品があり、地産地消を促進する産地直売所が立地しています。神通川沿いでは、豊かな自然を活かした温泉施設やアウトドア施設が整備され、様々な野外アクティビティを体験できます。

また、猿倉山森林公園からの眺望・寺家公園の桜や紅葉、神通川さくら堤などでは、豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

JR高山本線の笹津駅が立地し、都心地区へ向かう国道41号のバスなど複数のバス路線やシルバータクシーがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である笹津駅周辺から国道41号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、市街化区域のほか、集落地域にも低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の2割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

河岸段丘上に位置した住宅地であり、豪雨による洪水などの影響を受けにくいですが、局所的に土砂災害などの懸念があります。

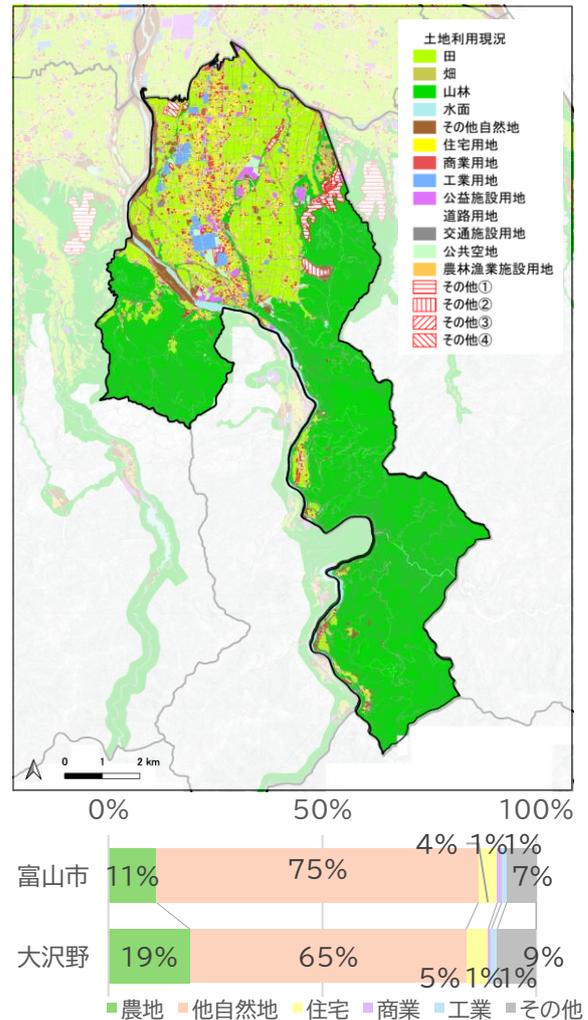
⑦生活行動

日常の買い物の約9割、通院の半数程度が自地域内で行われていますが、通勤・通学やその他買い物、文化・スポーツは2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から細入地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> ◇伝統文化（伝統芸能、高砂山願念坊祭りなどの祭事、山車、直坂遺跡や船倉用水などの文化資源） ◇地域への愛着（地域のつながり、祭事などを通じた活発なコミュニティ、温浴施設などで高齢者がいきいきと暮らせる環境） ◇自然資源（猿倉山などの眺望や景観、寺家公園の桜や紅葉、神通峡や春日温泉郷、地場産直売所）
《20年後の地域の将来イメージ》	『自然豊かで先祖を大切にすうん“米”まち』

(2) まちづくりの目標

大沢野地域では、商業施設や文化施設などの集積、神通川周辺の温浴・スポーツ施設や景勝地などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 生活に必要な機能が充実した国道41号沿線などでの生活拠点の形成

笹津駅周辺や国道41号沿線において、公共交通の利便性と商業施設や文化施設などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 神通川周辺の資源を活かした自然・レクリエーションの場の形成

神通川周辺の温浴・スポーツ施設、景勝地などを活かし、市民や来街者が自然・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

水田や中山間地域での棚田などの営農環境、森林・水源などの自然環境を保全します。

v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

国道41号や富山ICとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である笹津駅周辺と大沢野行政サービスセンター周辺は、地域商業地区として位置付けます。笹津駅周辺の駅前商店街を中心とする地区では、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業などの身近な生活サービス施設の集積を促進します。大沢野行政サービスセンター周辺では、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 中大久保地区や高内地区などの既存工業地は、国道 41 号へのアクセス性を活かした工業地区として位置付け、医薬品や電子部品、航空機部品などのものづくり産業の育成を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である国道 41 号沿道の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地として形成します。 (都) 中央幹線 (国道 41 号) 背後の市街地は、戸建住宅を中心とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 地域商業地区や工業地区周辺などの住宅地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 (都) 中央幹線 (国道 41 号) 沿道や工業地区周辺は、複合用途地区として位置付け、沿道施設やサービス機能などと調和した住宅地として形成します。 公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。 空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 平野部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

②交通体系の方針

公共交通

- J R 高山本線の利便性向上と持続可能性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- 公共交通軸である国道 41 号のバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- 国道 41 号のバス停周辺では、駐輪場の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を図ります。

道路

- ・高規格道路の富山高山連絡道路である（都）富山南線・猪谷楡原道路の整備を促進します。
- ・市街地の骨格を形成する（都）西幹線・（都）長附加納線・（都）高内稲代幹線などの整備を進めます。
- ・観光橋や神峽橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・笹津駅周辺は市民や来街者が、春日温泉や猿倉山、国登録有形文化財に指定された笹津橋、神通峽などの資源にアクセスできる環境を形成します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・神通川右岸では、堤防の強化を図るため、急流河川対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・大沢野浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう大沢野東排水区において浸水対策を推進します。
- ・上大久保浄水場及び旭ヶ丘配水池に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

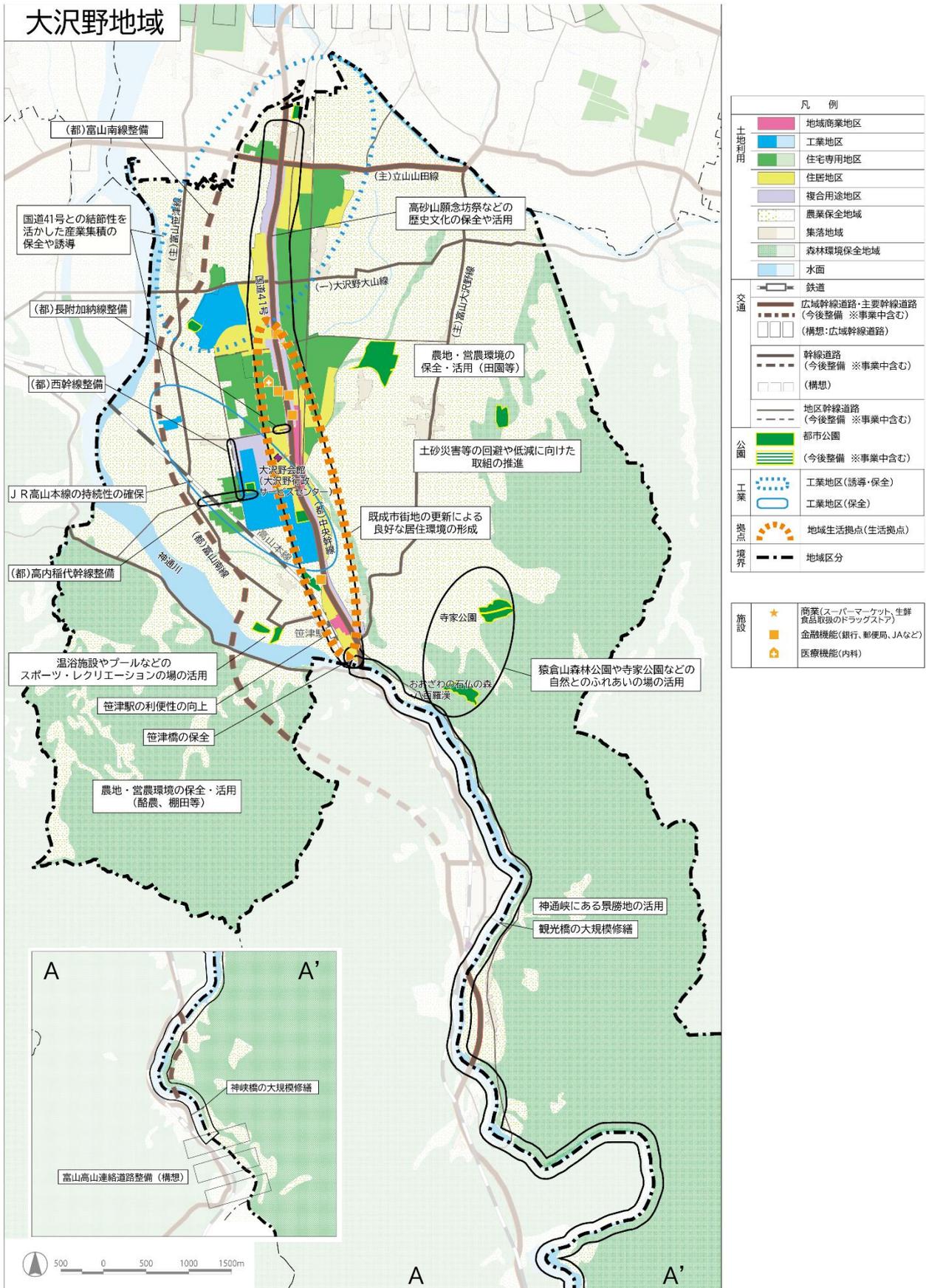
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・神通峽などでは森林の適切な保全を通じて、特色ある自然景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・山間部周辺の土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



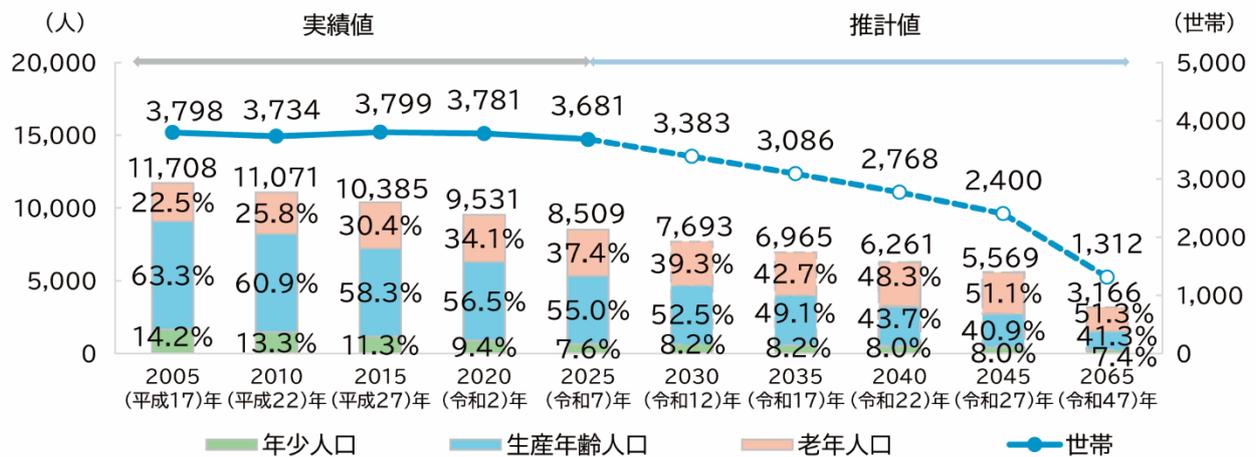
10 大山地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年時点で8,509人、高齢化率は37%と3割を超え、今後の人口減少の進展により高齢化率は5割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県内初の世界かんがい施設遺産である常西合口用水や小水力発電所が多数あります。

また、国の重要文化財にも指定されている本宮砂防えん堤をはじめとした国土保全施設が豊富にあり、立山や常願寺川が作り出す貴重な文化遺産となっています。

③自然・レクリエーション・景観

平野部の常願寺川沿いや常西合口用水沿いには水辺空間・緑地が整備され、豊かな自然資源を楽しむことができます。

また、中山間地域では、観光と自然体験が一緒に楽しめるスキー場、キャンプ場やリゾート施設が立地し、様々な野外アクティビティを体験できます。

④公共交通

富山地方鉄道不二越・上滝線の大庄駅、上滝駅、大川寺駅、富山地方鉄道立山線の有峰口駅、本宮駅が立地し、市営コミュニティバスなどがあります。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占めており、住宅用地はごく一部となっています。また、低未利用地は、主に上滝駅周辺に存在しています。上滝駅周辺以北では、住宅と農地が混在した市街地が広がっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、常願寺川からの洪水や崖地での土砂災害の影響、複合災害の影響が懸念されます。

⑦生活行動

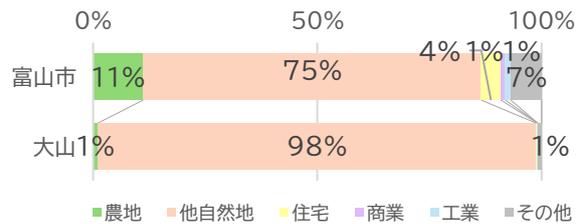
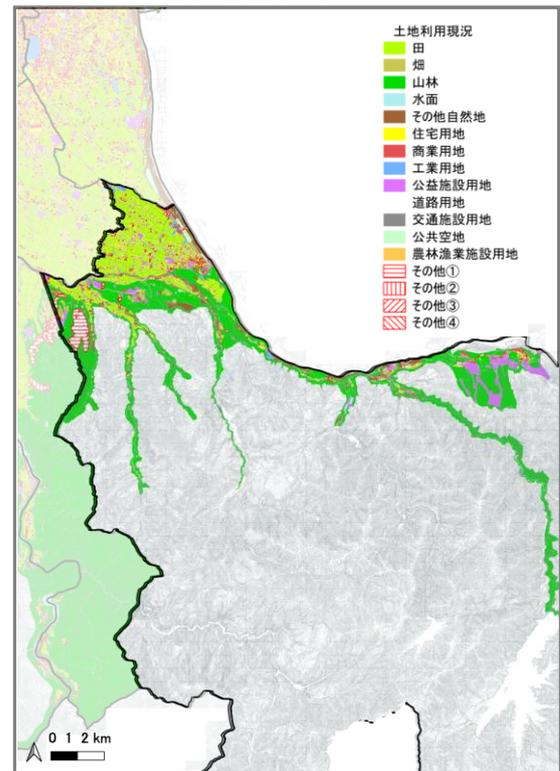
日常の買い物の8割以上、通院の7割以上が市内の他地域で行われています。

なお、富山南部地域が主な行き先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山南部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇公共交通網の充実（オンデマンド交通で駅などへアクセスが良い） ◇豊かな子育て環境（保育園や幼稚園から大学までそろっている） ◇地域でつながり交流できる環境（コミュニティが活発） ◇豊かな自然環境・観光・レクリエーション資源の充実・豊富な文化資源（常願寺川などで川遊び、キャンプ場やスキー場、常西合口用水や立山カルデラなど） ◇災害の少なさ
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『大山学を始めよう！日本一幸せな“限界集落”』</p>

(2) まちづくりの目標

大山地域では、常西合口用水の水辺空間や歴史・文化資源、山岳やスキー場の資源・施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな水辺空間、歴史・文化資源を活用した地域拠点の形成

上滝駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、常西合口用水などの水辺空間、歴史・文化資源を活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山地方鉄道不二越・上滝線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 山岳やスキー場などの資源や施設を活かした自然・レクリエーションの場の形成

有峰湖や立山山麓スキー場などの施設や資源、立山黒部アルペンルートへの経由地としての特性を活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 都心や拠点間、主要な施設を結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

上滝駅周辺の市街地・大山研究学園都市などの主要施設を結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点である上滝駅周辺は、地域商業地区として位置付け、駅周辺及び駅前商店街を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・田園空間や河川空間に接する市街地の縁辺部は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・富山地方鉄道不二越・上滝線の北側や上滝駅南側は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・地域商業地区と大川寺駅を結ぶ道路の沿道は、複合用途地区として位置付け、商業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・富山国際大学や職藝学院などの集積を活かした教育機能や関連施設などの充実により、周辺の自然環境との調和に配慮しつつ、学術文化の場としての形成を図ります。 ・平野部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場として活用することを検討します。 ・山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・富山地方鉄道不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、富山地方鉄道立山線やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・上滝駅の周辺などではアクセス道路の整備などにより利用環境の改善を図ります。

道路

- ・都心と拠点をつなぐ（主）富山上滝立山線の整備構想の検討などを促進します。
- ・上滝駅へのアクセス道路として（都）上滝駅前線の整備などを進めます。
- ・雷鳥大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 殿様林緑地は、みどりの拠点及びスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・ 地域の憩いの場であり、良好な水辺景観を形成している常西合口用水沿いの松・桜並木などの保全に努めます
- ・ 立山山麓や有峰湖周辺では、観光・交流機能の充実を進めながら、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 常願寺川などの砂防・治水・発電施設の適正な保全や活用を推進します。
- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 大山水処理場などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・ 上滝浄水場及び浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・ 公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 常願寺川沿いでは、佐々堤・太田閘門・殿様林など治水に関わる歴史・文化資源や旧街道沿いの歴史的建造物の保全・活用に努め、歴史的景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・ 土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

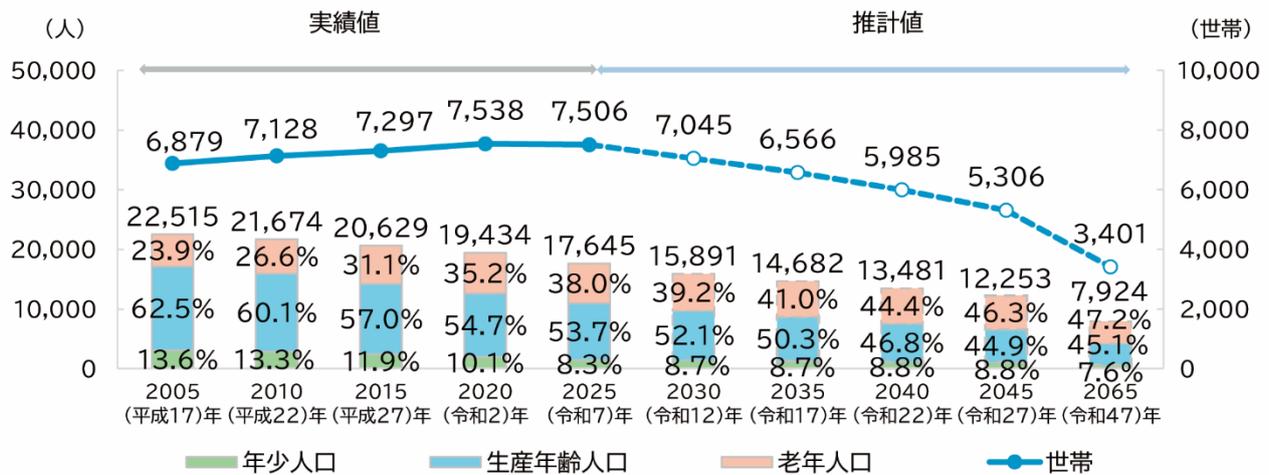
11 八尾地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口や世帯は既に減少しており、2025（令和7）年時点で17,645人、高齢化率は38%と3割を超え、今後の人口減少の進展により、高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

「越中八尾おわら風の盆」が全国的に有名であり、「越中八尾曳山祭り」は県の有形民俗文化財に指定されているほか、八尾町旧町周辺には資料館などの施設があり、歴史文化を体験することができます。

また、中山間地域などには、城跡などの歴史遺産が点在しています。

③自然・レクリエーション、景観

八尾町旧町周辺には、石垣や石畳など美しい街並み景観があり、諏訪町大通りは日本の道100選に選定されています。

また、中山間地域には、豊かな自然を活かしたスポーツ・レクリエーション施設があり、アクティビティを体験することができます。

④公共交通

JR高山本線の越中八尾駅と東八尾駅が立地し、複数のバス路線や市営コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

生活拠点である越中八尾駅周辺を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、地域の北西には、富山八尾中核工業団地が整備され、工業用地が広がっています。また、用途地域のほか、集落地域に低未利用地が存在しています。

地域の9割が山林などの自然的土地利用となっており、市平均よりも割合が高くなっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、井田川からの洪水の影響や隣接する崖地での土砂災害の影響が懸念されます。

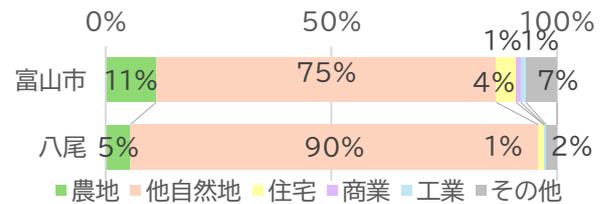
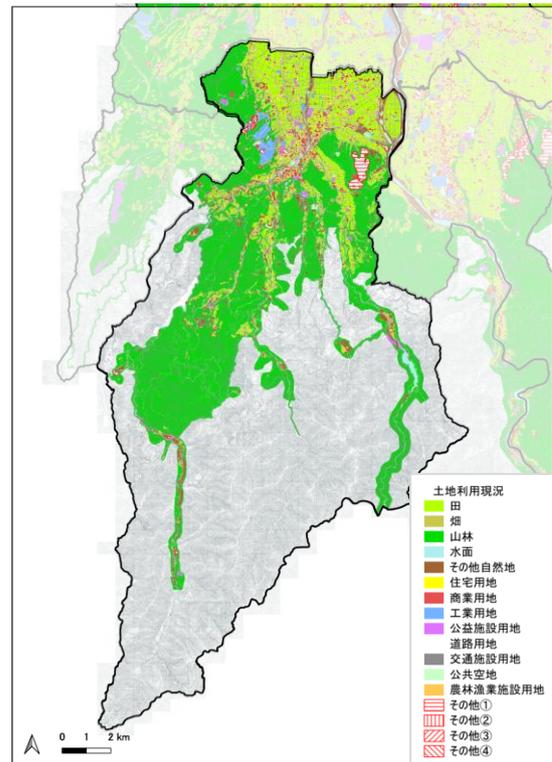
⑦生活行動

日常の買い物の約7割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院、文化・スポーツは約3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、婦中地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇おわら風の盆や越中八尾曳山祭り ◇八尾の街並み景観（美しい街並みと文化的で豊かな暮らし） ◇良好な生活環境（適度な密度、自然が豊か、おいしいお米や水） ◇富山八尾中核工業団地 ◇自然を活かしたスポーツ・レジャー施設（サーキット場、温浴施設） ◇豊かな自然、農村景観（白木峰、キャンプ場、滞在型の市民農園、地場産の食、温浴施設、山間地の棚田や扇状地の田園など）
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『自然・文化・食を活かせる、共存共栄しつづける八尾（まち）』</p>

(2) まちづくりの目標

八尾地域では、固有の歴史・文化・街並み、周囲の山々や井田川の自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。。

i) 地域固有の歴史・文化・街並みなどを活かした地域拠点の形成

越中八尾駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、越中おわら風の盆などの町人文化が息づく歴史・文化、街並みなどを活用して、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 周囲の自然環境や施設などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

周囲の山々や井田川などの自然環境、城ヶ山公園、東八尾駅周辺の水辺空間などを活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

水田などの営農環境、周囲の森林や水源などの自然環境の保全を推進します。

v) 先端技術産業の集積を活かした産業の保全

富山八尾中核工業団地を核とした、先端技術産業の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・地域拠点である越中八尾駅周辺及び旧町地区は、地域商業地区として位置付け、歴史的な街並みを活かしながら、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・八尾中核工業団地は、工業地区として位置付け、一層の工業振興を支援しながら、先端技術産業などの立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・福島周辺の市街地は、住宅専用地区として位置付け、福島上野周辺では、戸建住宅を主体とした良好な住環境の形成を図ります。・旧町周辺の市街地は、住居地区として位置付け、八尾行政サービスセンターなどの公共公益施設や商業施設の利便性を享受できる住宅地として形成します。・JR高山本線以北の井田川沿いは、複合用途地区とし、工業施設やサービス機能などと調和した住宅地として形成します。・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・平野部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。・山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。・自然環境を活かした住まいの提供など、集落維持に努めます。・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全や森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・JR高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、生活バス路線の維持やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・越中八尾駅周辺では、バスとの連携強化やパーク&ライド駐車場の拡充などによる利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・都心間や拠点間の形成を支える道路として、（主）立山山田線・（都）高熊井田線などの整備を促進します。
- ・新井田橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちなみ、レクリエーション

- ・城ヶ山公園を地域拠点におけるみどりの核として維持します。
- ・神通川沿いでは、神通川水辺プラザを核としたレクリエーション場の形成に努めます。
- ・白木峰周辺や久婦須川ダム周辺では、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・峠川では、治水機能の向上と河川環境を整備を推進します。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業を促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・杉田西汚水中継ポンプ所などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・下井田新浄水場及び小長谷低区配水池、これらの施設に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・旧町地区は、諏訪町本通りをはじめとした特徴ある街並みや歴史的建造物を活かして、歴史的な町並み景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・崖崩れなどのリスクがある諏訪町などでは、斜面地の防災対策として、急傾斜地崩壊対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

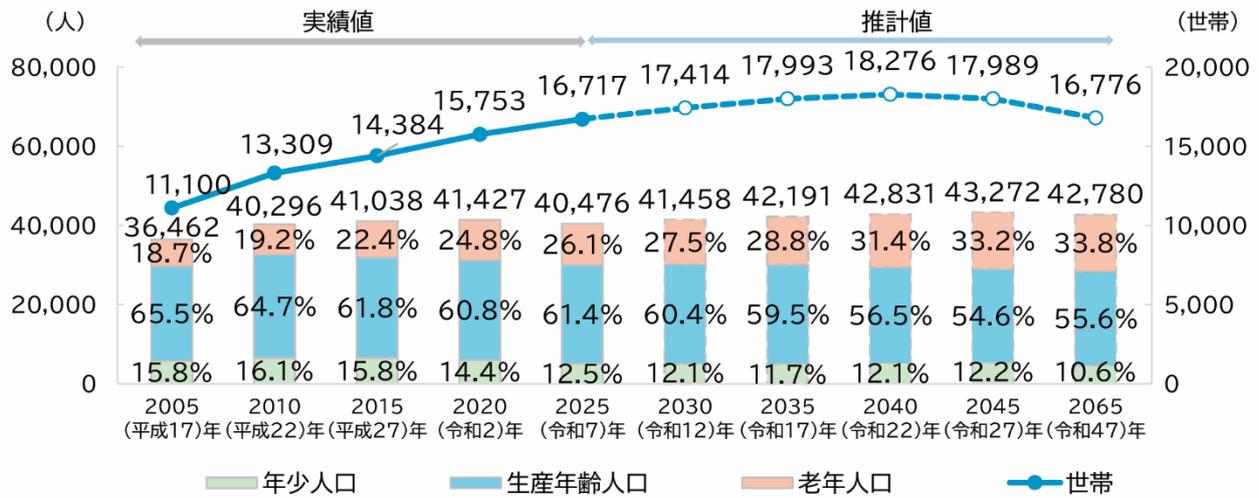
12 婦中地域

(1) 地域の概要

①人口・世帯数

人口は一定数で推移しており、2025（令和7）年時点で40,476人、高齢化率は26%であり、今後は人口・世帯数とも増加するものの高齢化率は3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、寺院や古墳、城址などの遺跡や景勝地などが多く存在し、歴史・文化資源の宝庫となっています。

また、婦中ふるさと創生館などの施設、「ふちゅう曲水の宴」、「安田城月見の宴」などのイベントを通して、歴史文化の学習や体験をすることができます。

③自然・レクリエーション・景観

都市近郊の豊かな自然や中山間地域から平野部までの多様な環境を活かした果樹園、博物館、植物園、牧場が立地し、自然と身近に触れ合うことができます。

また、地域内に白鳥の飛来地もあり、自然豊かな環境が維持されています。

④公共交通

JR高山本線の婦中鵜坂駅、速星駅、千里駅の3つの駅が立地し、複数のバス路線や地域自主運行バスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である速星駅周辺から国道 359 号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、郊外の農地や森林に大規模な低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の 3 割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

市街地は河川にはさまれており、垂直避難が困難となるような洪水の影響が懸念されます。

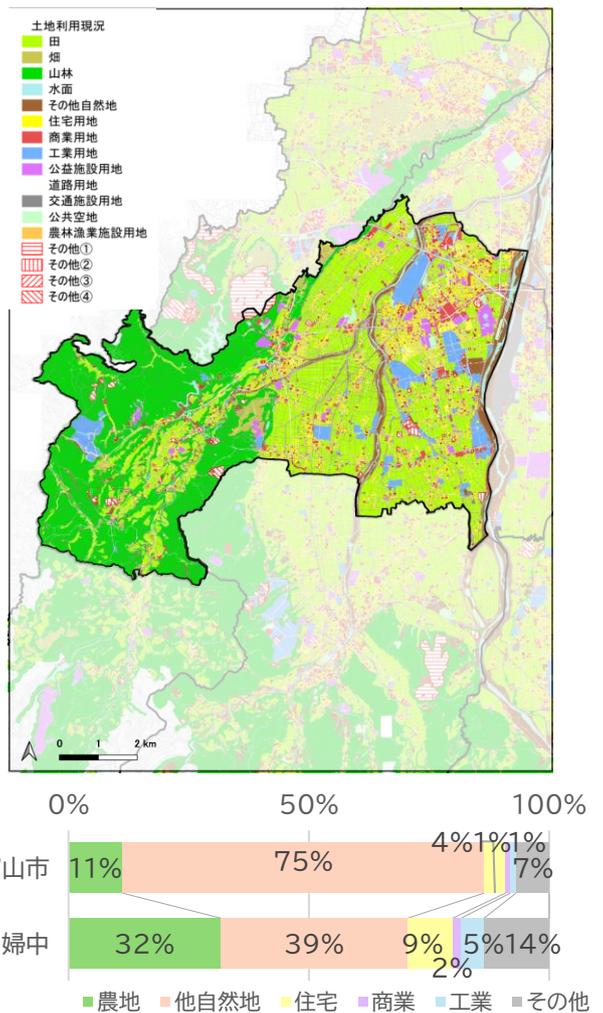
⑦生活行動

通勤・通学の約 7 割が他地域で行われていますが、日常の買い物や通院、文化・スポーツなどの活動は 6 割以上が自地域内で行われています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から八尾地域や山田地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和 5 年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ファボーレ周辺の賑わい（広域の集客、アミューズメントの充実） ◇歴史、文化資源の宝庫（ふるさと自然公園、史跡安田城跡、史跡王塚・千坊山遺跡群、城址、寺社仏閣、獅子舞や神輿、ふちゅう曲水の宴などのイベントなど） ◇豊かな田園、営農環境（田園景観、ブドウやスイカなどの特産物、丘の夢牧場などの里山、ハクチョウの飛来地など） ◇速星駅周辺の機能集積、住みやすさ（商業施設の充実など） ◇良好な生活環境やコミュニティの形成 ◇工場の集積
<p>《20 年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『地域の誇りと自信に満ち溢れるまち』</p>

(2) まちづくりの目標

婦中地域では、大型商業施設などの集積、里山周辺の自然環境や施設、歴史資源を活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 速星駅周辺の大型商業施設などの集積を活かした生活拠点の形成

速星駅周辺において、公共交通の利便性と大型商業施設をはじめとした様々な商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 里山周辺の資源などを活かした自然・レクリエーションの場の形成

千里駅周辺などに広がる里山、富山県中央植物園、富山県自然植物園ねいの里、丘の夢牧場などの施設、史跡安田城址や王塚・千坊山遺跡群などの歴史資源を活かし、市民が自然やレクリエーションに親しめる場を形成に努めます。

iv) 豊かな自然環境や営農環境の保全

里山の自然環境、水田や果樹園などの営農環境の保全を進めます。

v) 広域物流に優位な環境を活かした産業の保全・誘導

高速 IC や幹線道路などとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点である速星駅周辺、大規模商業施設周辺は、広域商業地区として位置付け、買い回り品に加えて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設も充実した魅力ある商業地区として形成します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 富山空港周辺やJ R高山本線沿線の工業団地などは、交通利便性を活かした工業地区として位置付け、製造業や先端技術産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> 速星駅周辺や(都)塚原羽根線の沿道などを除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 速星駅周辺や広域商業地区周辺は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 (都)塚原羽根線の沿道は、複合用途地区として位置付け、沿道の商業機能などと調和した住宅地として形成します。 公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の誘導を図ります。 空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 平野部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 西部に広がる森林や田園は、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、歴史や文化、森林、動植物とのふれあい環境を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- J R高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- 公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、主要なバス路線の維持や生活バス路線及び地域自主運行バスの機能確保に努めます。
- 速星駅周辺では、バスとの連携強化などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- 高規格道路である富山外郭環状道路の構想検討を促進します。

- ・宮神橋や新保大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設や機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・神通川緑地や富山県中央植物園の周辺に広がる、広場やスポーツ施設により、スポーツや自然学習など多様な余暇活動の需要に応えるレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・宮島川、峠川、坪野川、山田川、井田川では、治水機能の向上を進めます。
- ・井田川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・速星雨水ポンプ場などにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう速星排水区において浸水対策を推進します。
- ・東部浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

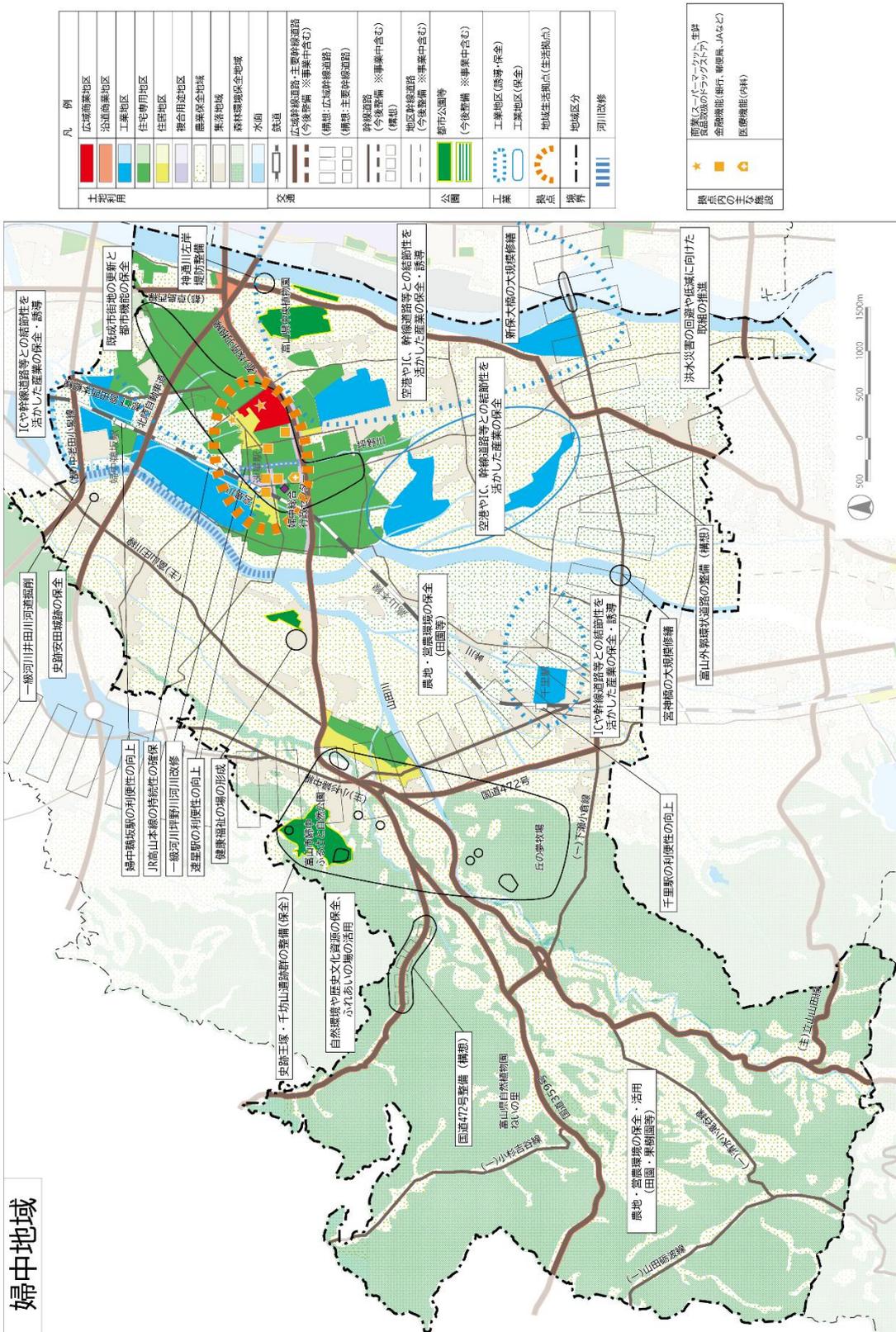
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・富山県自然博物館ねいの里や富山県立中央植物園などの施設、田園の営農環境、里山などの動植物の自然環境の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害や洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



婦中地域

凡 例	
	広域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	住宅専用地区
	住宅地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
	森林環境保全地域
	水田
	鉄道
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	(構想)広域幹線道路 (構想)主要幹線道路
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	都市公園等
	公園
	工業
	工業地区(幹線・保全)
	工業地区(保全)
	地域生活拠点(生活拠点)
	地域区分
	河川改修

	商業(スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア)
	金融機能(銀行、郵便局、JAなど)
	医療機能(内科)

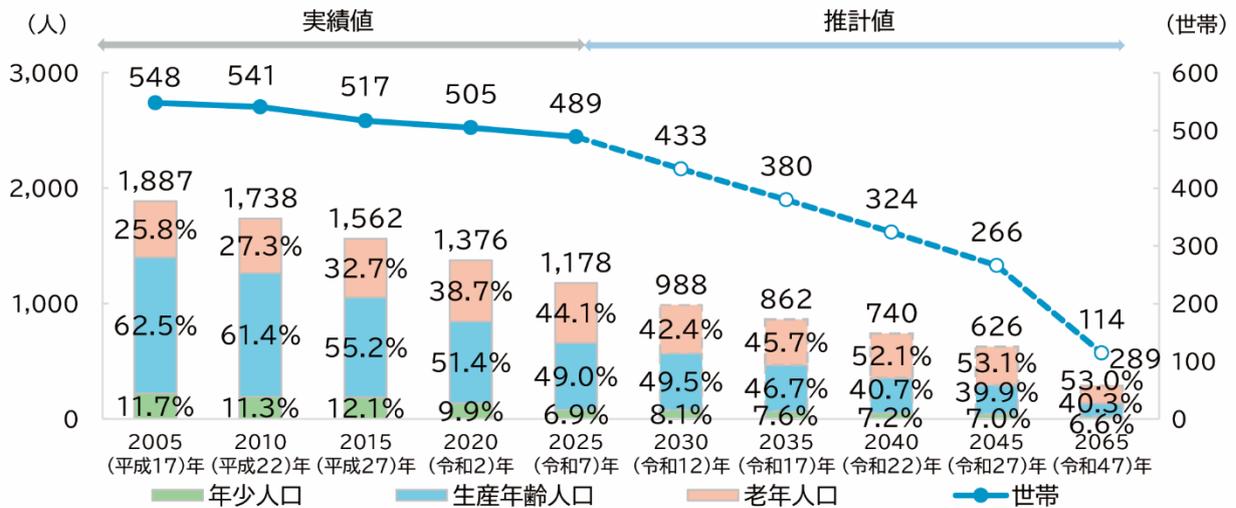
13 山田地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025(令和7)年の人口は1,178人、高齢化率は44%となっており、今後、人口は半数程度になり、高齢化率は5割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、ブナ林や大杉、大桜をはじめとする自然資源が点在し、城跡などの歴史遺産があります。

スキー場やキャンプ場など、自然を活かした大規模なレクリエーション施設などが立地し、野外アクティビティを体験できます。

③自然・レクリエーション・景観

棚田の原風景が広がり、高原の台地が育んだ特産品を販売する農産物直売所が立地しています。

また、自然を活かしたスポーツ、レジャー施設を活用し、関係人口の拡大に向けた交流事業が進められており、牛岳からは雄大な眺望景観を楽しむことができます。

④公共交通

生活に密着したコミュニティバスが生活圏や主要施設をカバーしています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害やため池氾濫などの懸念があります。

⑦生活行動

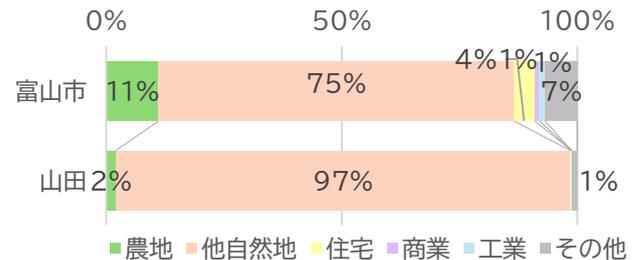
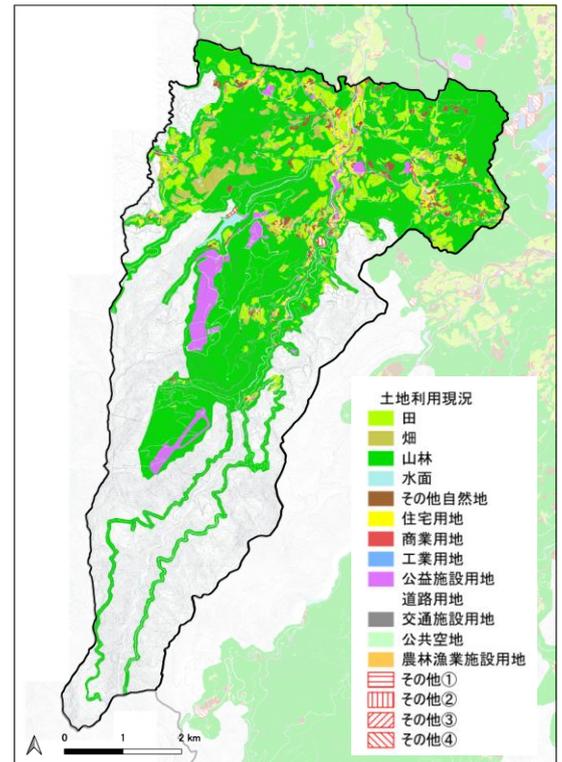
日常の買い物の約9割、通勤・通学の約7割、通院はほぼ全てが他地域内で行われています。

なお、婦中地域や八尾地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、八尾地域や婦中地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇豊かな田園、農村環境（棚田などの環境、標高の高い農地） ◇付加価値の高い農作物の栽培（ニラ、大根、ジャガイモ、そば、啓翁桜など） ◇自然に囲まれた良好な生活環境 ◇自然を活かしたスポーツ、レジャー施設（スキー場、キャンプ場、富山市こどもの村、サイクリングロード、温浴施設など） ◇一流の田舎として、移住者が増加（市街地まで約30分と身近な中山間地域） ◇富山を一望できる眺望景観（富山平野や富山湾を一望）
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『幸せ日本一！の山田』</p>

(2) まちづくりの目標

山田地域では、山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 山岳の自然やスポーツ施設・レクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

山田中核型地区センター周辺において、生活機能などの維持と、牛岳など山岳の自然環境、スキー場や温浴施設、農作物の販売施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 生活交通の維持と既存集落（宅地）での居住環境の形成

生活交通の維持や既存集落（宅地）の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 主要な道路の適正な保全や整備

越中八尾駅などにつながる主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 豊かな森林や水源など自然・営農環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然や棚田をはじめとした営農環境の保全を図ります。

v) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

<p>農業・ 自然系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である山田中核型地区センター周辺は、生活に密着した商業などの生活関連機能の維持に努めます。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・特徴的な景観を形成している棚田をはじめとした中山間地域に点在する農地は、農業保全地域とし、良好な営農環境を保全するとともに、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 ・森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
--------------------	--

②交通体系の方針

公共交通

- ・生活の足を確保するため、越中八尾駅を結ぶ市営コミュニティバスの機能確保に努めます。

道路

- ・宿坊大橋や中央橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちなみ、レクリエーション

- ・牛岳山麓とスキー場及び牛岳温泉健康センター周辺を中心としたスポーツ・レクリエーション施設は、管理体制や機能強化を推進します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・山田川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・山田浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

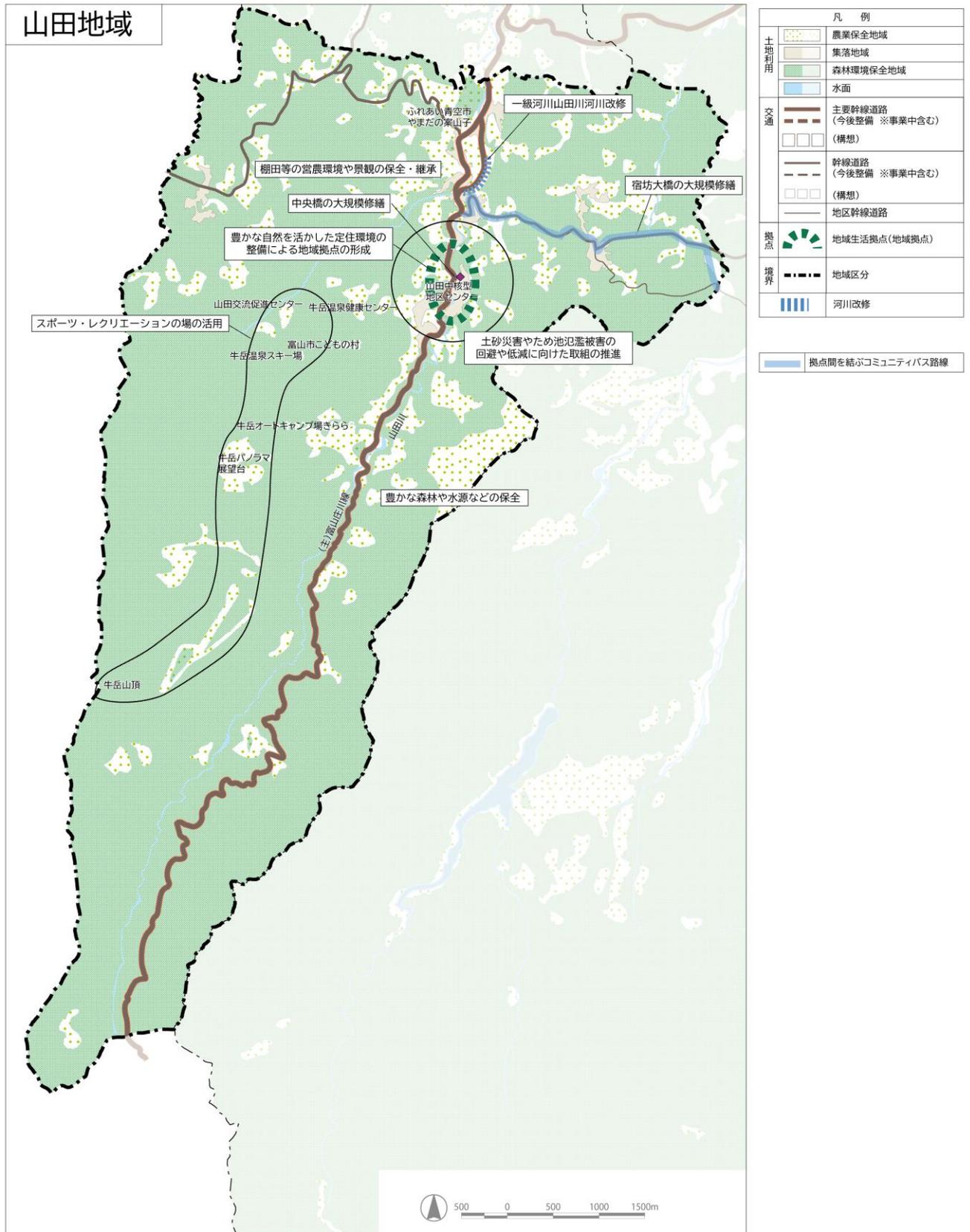
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・特徴ある棚田景観などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・土砂災害のリスクのある山田川流域の中村地内などでの土石流対策や湯地区などでの地すべり対策を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



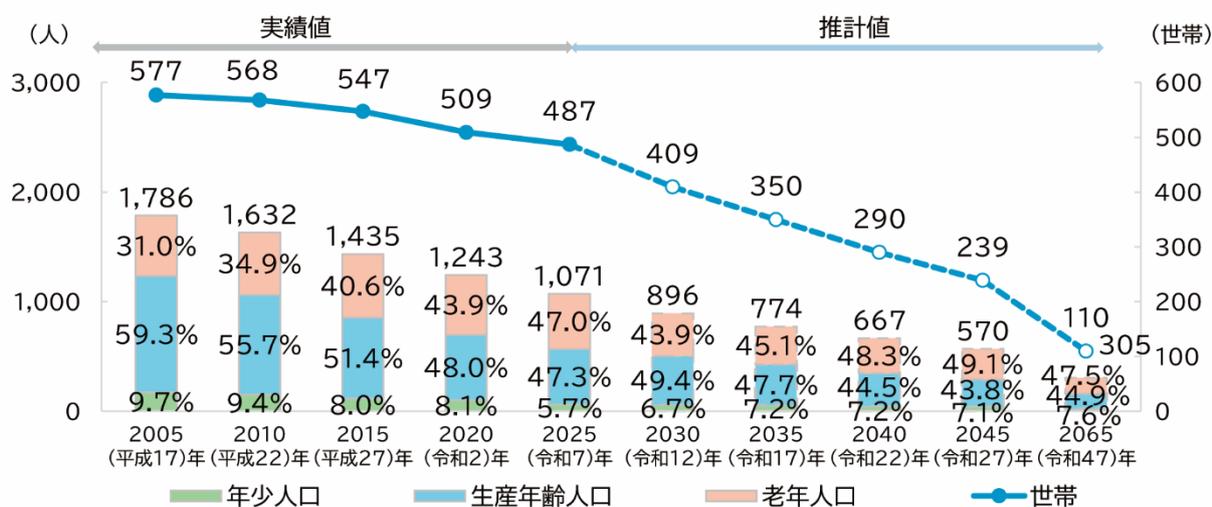
14 細入地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少しており、2025（令和7）年の人口は1,071人、高齢化率は47%であり、今後、人口は半数程度となり、高齢化率は5割近くとなる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県指定の史跡である猪谷関跡のほか、猪谷関所館などが立地しており、歴史文化の拠点となっています。

また、古くから伝わる獅子舞やお祭りが地域の伝統文化として残っています。

③自然・レクリエーション・景観

神通川沿いの自然を活かした温泉施設やキャンプ場、道の駅があり、観光や自然のアクティビティを楽しむことができ、市民の余暇や来街者の長期滞在などでの利用が進んでいます。

また、自然が作り上げた溪谷美「神通峡」では、四季折々の豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

JR高山本線の楡原駅と猪谷駅が立地しています。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占め、住宅用地はごく一部となっています。

⑥災害リスク

中山間地域に位置し、土砂災害の影響が懸念されます。

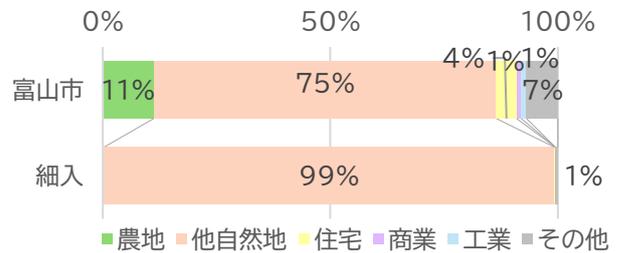
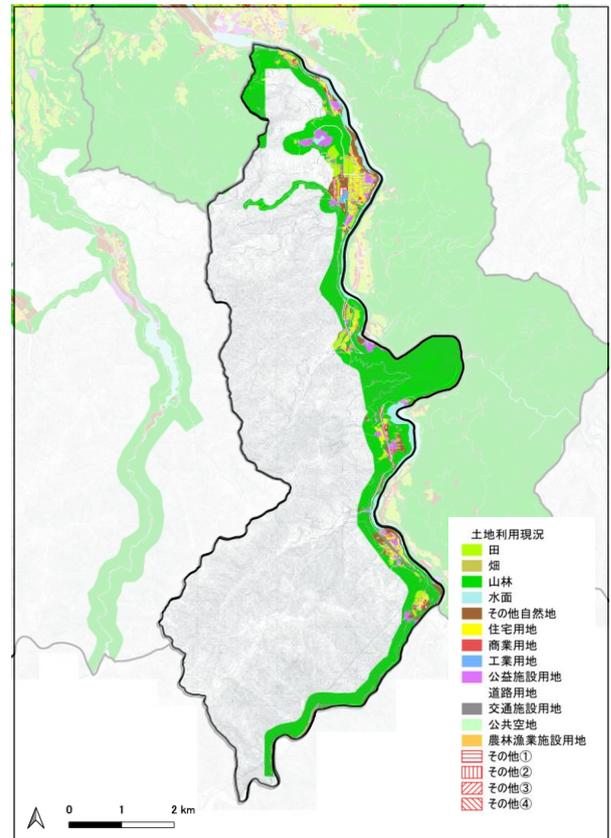
⑦生活行動

日常の買い物の9割以上、通勤・通学の7割以上が他地域に行われています。なお、大沢野地域が主な行先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、大沢野地域との強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<p>◇充実した広域交通 （富山市中心部や大沢野から飛騨や名古屋までをつなぐ国道41号やJR高山本線）</p> <p>◇歴史文化拠点の点在、気ままな暮らし （地域の獅子舞や重忠祭りなどの伝統文化、神通峡をはじめとした豊かな自然、キャンプ場や温浴施設などの施設、森林に囲まれた静かな生活など）</p>
《20年後の地域の将来イメージ》	『若者が集うまち』

(2) まちづくりの目標

細入地域では、神通峡の景勝やレジャー施設、飛騨街道の歴史・文化資源、道の駅などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 神通峡の景勝やレジャー施設を活かした地域拠点の形成

J R 高山本線楡原駅周辺において、生活機能などの維持と、神通峡の景勝や豊かな自然環境、キャンプ場や温浴施設などを活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線の活性化と連携した既存集落（宅地）の利活用により、良好な居住環境を形成します。

iii) 飛騨街道の歴史・文化資源、交流の場の活用

J R 高山本線猪谷駅周辺の猪谷関所館や道の駅、各所に残る歴史・文化の資源などを活用し、市民や来街者が飛騨街道の歴史・環境に親しめる場を形成します。

iv) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

既存集落（宅地）や岐阜県飛騨地域を結ぶ公共交通及び主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">楡原駅周辺を中心に、公共交通の利用環境や生活関連機能の維持に努めます。集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。農地は農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全するとともに、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。森林環境保全地域は、豊かな自然環境や景観の保全、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。
--------	--

②交通体系の方針

公共交通

- ・ J R 高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・ 生活の足を確保するため、効率的な生活交通サービスの提供を検討します。

道路

- ・ 高規格道路である富山高山連絡道路の(都)富山南線・猪谷榆原道路の整備を促進します。
- ・ 観光橋や神峽橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 旧飛騨街道や猪谷関所館などの歴史文化資源の活用に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 榆原浄化センターなどにおいて下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。

④都市の質に関する方針

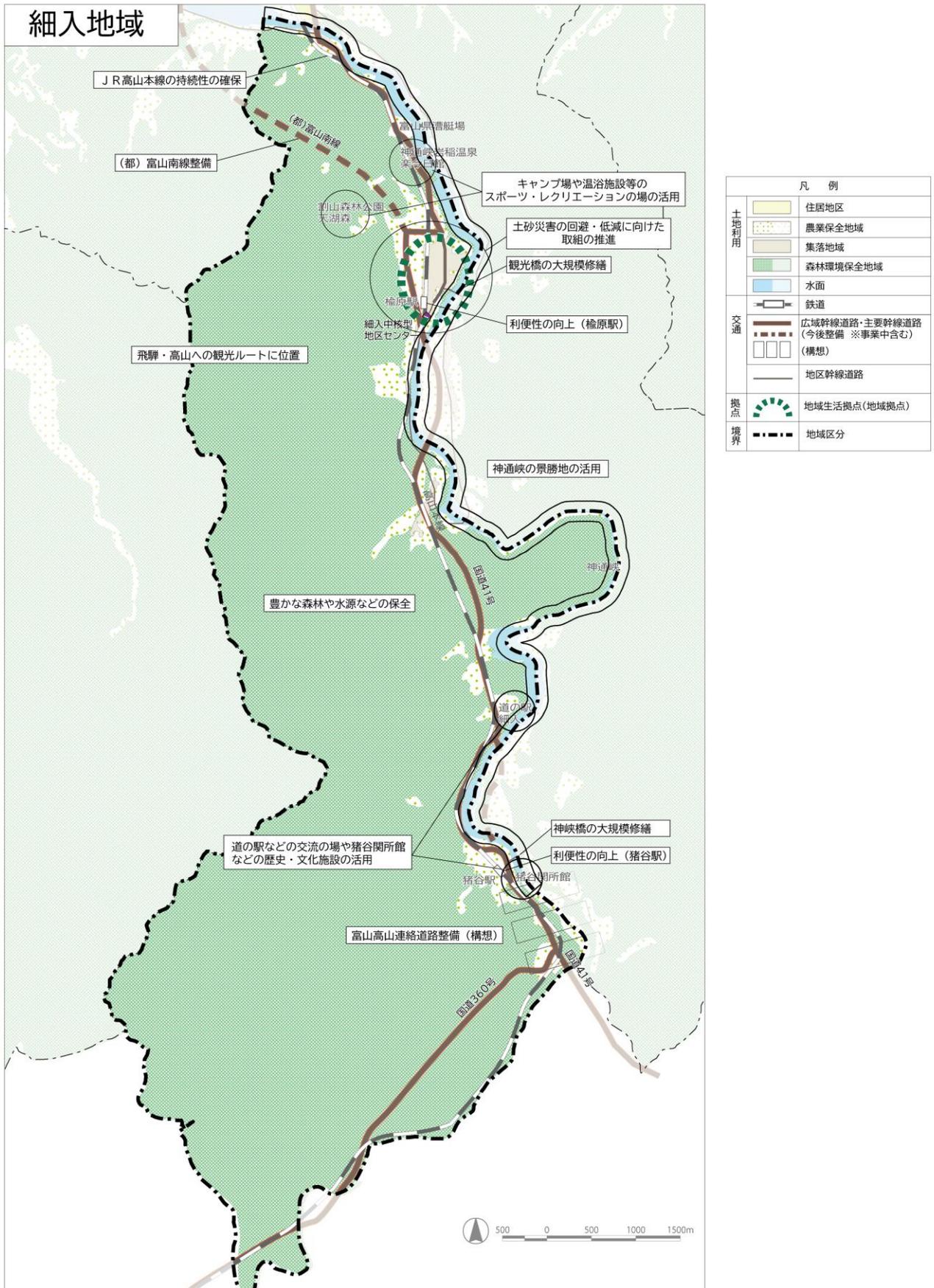
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・ 地域生活拠点を中心に、だれもが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 神通峽などの豊かな自然環境や景観の保全を図ります。

防災・防犯

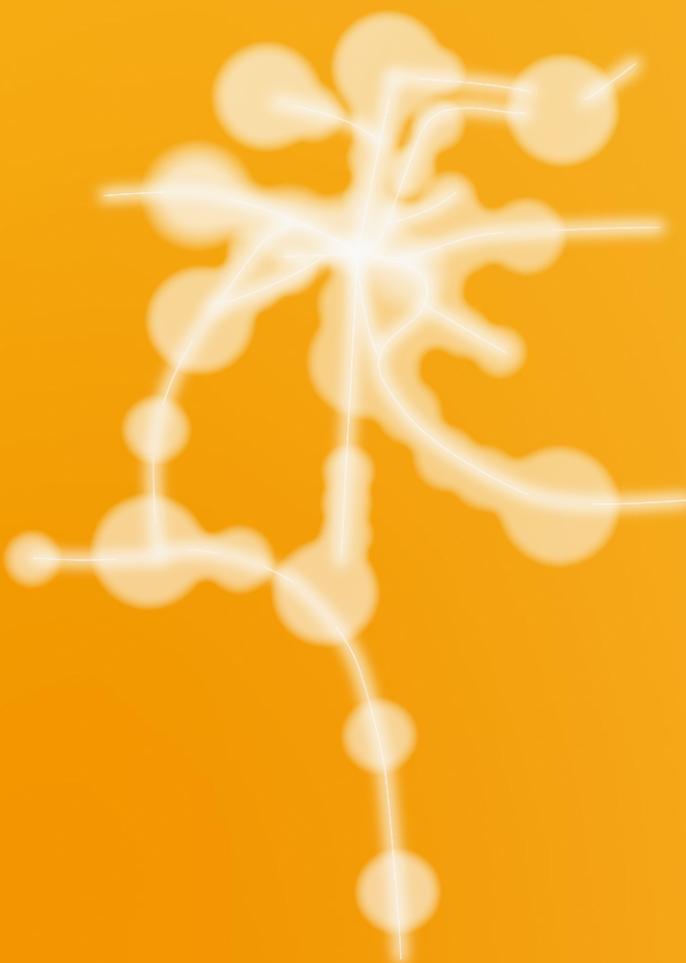
- ・ 土砂災害など危険性の高い箇所では、新たな建築の規制や建築物の構造規制などを推進するとともに、災害リスク情報の周知・啓発などにより被害を回避・軽減するための取組を推進します。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



資料編

- 1 用語解説
- 2 策定の経過
- 3 検討委員会名簿



1 用語解説

	用語	説明
A	A I	Artificial Intelligence の略称であり、人間の知能を模倣し、学習・推論・認識・理解・その他の知的行動を自動的に行うコンピュータシステムやソフトウェアのこと
	A I オンデマンド交通	A I（人工知能）を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適な配車を行うシステムのこと
D	D X (デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術を駆使して、交通・運輸などを効率化する手法のこと
I	I C T	Information and Communication Technology の頭文字をとった略称であり、情報通信技術のこと
P	P F A S	環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されている有機フッ素化合物の一種
S	S D G s 未来都市	S D G s (持続可能な開発目標) の理念に沿って積極的な取組を推進しようとする都市を国が選定するもの(富山市は 2018 年 6 月に選定)
あ	アクションプラン	目標を遂げるための戦略、基本方針、および実施する具体的な行動内容を示した計画のこと
	活かす	磨き上げ、有効に活用すること
	イノベーション	商品やサービスまたはビジネスモデルに従来とは違った仕組みや技術を組み合わせることで、今までにない革新的な価値を生み出し社会に大きなインパクトをもたらすこと
	インクルーシブデザイン	障害者、高齢者、外国人などの多様な人々を、施設などの企画・開発の初期段階から巻き込むことで、新たな価値創造につながる手法のこと
	インバウンド	観光分野における「外国人の日本旅行者」あるいは「訪日外国人観光客」のこと
	ウォークブル	「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、まちなかを車中心から人中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変していく考えのこと



	ウォーターPPP	水道施設の維持管理と更新を一体的にマネジメントする官民連携方式の一つのこと
	エコタウン産業団地	ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることを旨とする『ゼロエミッション構想』を基軸に、“人と環境にやさしい都市とやま”を実現するため、整備された団地のこと
	エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値(魅力や資産など)を維持・向上させるための、住民、事業者、地権者等による主体的な取組のこと
か	買回り品	品質や価格などの面において、複数の店舗や類似商品を十分に検討した上で購入する傾向の強い商品のこと
	環境未来都市	環境や高齢化など人類共通の課題に対し、環境、社会、経済の三つの価値を創造することで「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」の実現を目指す、先導的プロジェクトに取り組んでいる都市・地域のこと
	居住誘導区域	都市再生特別措置法に基づき策定した「富山市立地適正化計画」で定める区域。一定エリアにおいて人口密度を確保し、居住者の生活の利便性を保つために必要なサービスやコミュニティの維持を図るように居住を誘導する区域のこと
	キャッシュレス決済	鉄道やバスなどの利用時に、現金で切符を購入せずに、ICカードやスマートフォンのアプリケーションなどで決済を行うこと
	景観協定	一定の区域内の土地所有者等の合意の下に、建築物や工作物の形態・意匠、緑化などに関する基準を定める協定
	建築協定	一定の区域内の土地所有者等の合意の下に、建築物の構造・用途・形態・意匠などに関する基準を定める協定
	公共交通の沿線	公共交通の徒歩圏のこと
	公共交通が便利な地域	公共交通が便利な圏域と同義・同範囲であり、前計画での表現域
	工業専用地域及び工業地域	都市計画法で決められた用途地域のこと。工業専用地域は、特に工業の利便性を増進するため定める地域のこと。工業専用地域では、工場以外のほとんどの建物は建てられない。一方工業地域は基本的にどんな建物でも建てられるほか、住居、小

		規模店舗も建てられる。ただし、学校や病院、ホテルなどは建てられない
	コミュニティバス	中心市街地や公共交通が不便な地域において、交通需要に合わせて運行するバス
さ	シェアサイクル	各所に設置されるステーションから、自由に自転車を利用し、任意のステーションに返却することができるレンタルサイクル
	準住居地域	道路の沿道等において、自動車関連施設などと、住居が調和した環境を保護するための地域。風俗施設、150㎡を超える自動車修理工場等は建てられない
	スプロール化	都市の中心部から郊外へ、無計画かつ無秩序に市街地が不規則に拡大していく現象のこと
	スマート農業	AI や ICT、ロボット技術などを活用し農作業の効率化を図る取組のこと
	ゼロカーボン	二酸化炭素排出量を実質ゼロにする取組のこと
	線引き制度	都市計画法に基づく制度で、計画的なまちづくりを誘導するため、市街化を図る区域と抑制する区域に分け、段階的かつ計画的に市街化を図ろうとするもの
た	第一種中高層住居専用地域	中高層住宅の良好な環境を守るための地域で、住宅、小・中学校、診療所、公共施設等のほか、500㎡以下の日用品を販売する店舗、大学、病院等が建てられる
	第二種中高層住居専用地域	中高層住宅の良好な環境を守るための地域で、1,500㎡を超える店舗、事務所、一定規模以上の工場等は建てられない
	第一種低層住居専用地域	低層住宅の良好な環境を守るための地域で、住宅のほか小・中学校、診療所、公共施設等が建てられる
	第一種住居地域	住居の環境を守るための地域で、3,000㎡を超える店舗、事務所、一定規模以上の工場等は建てられない
	第二種住居地域	主に住居の環境を守るための地域で、風俗施設、一定規模以上の工場等は建てられない
	団塊世代	戦後のベビーブーム時代と言われる昭和 22 年から昭和 24 年に生まれた世代
	地域森林計画	森林法に基づき、都道府県知事が森林計画区ごとに 10 年を一



		期として5年毎に樹立する計画で、都道府県の森林関連の施策の方向性や伐採、造林、林道、保安林の整備の目標等を定め、市町村森林整備計画の規範となるもの。富山県では「神通川」「庄川」の2つの森林計画区がある
	地域生活圏域	市民の生活行動の単位であり、最寄り品の購入や医療サービスなどを身近に享受できるまちづくりの範囲として設定
	地区計画	地区の特性にふさわしい良好な環境を整備・保全するため、地区の目標・将来像や公共施設の整備、建築物に関する事項などを定める計画
	中核市	地方自治法の規定で、人口20万人以上を要件とし、地域の中核的都市機能を備えた都市。指定を受けると、福祉や保健衛生、都市計画などの権限が都道府県より移譲される
	中山間地域	山間地及びその周辺の地域など、一般に傾斜地が多いなど農業生産条件は不利だが、国土の保全、水源の涵養など多くの機能を有している地域
	低未利用地	適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称
	都市アセット	地域の資源（資産）として存在する官民の既存ストック（土地や建物など）のこと
	都市機能誘導区域	都市再生特別措置法に基づき策定した「富山市立地適正化計画」で定める区域。医療・福祉・商業等の都市機能を確保・維持し、公共交通などでアクセスすることにより、区域外に住む方にとっても様々な都市機能を享受できる区域のこと
	都市計画区域	一体の都市として総合的に整備、開発及び保全する必要がある区域として、都道府県により指定される都市計画を定める範囲のこと
	都心地区	富山市総合計画で定める区域（面積約436ha）のこと。中心市街地地区・まちなかは同義であり、同じ範囲を示す
	富山市版スマートシティ	本市がこれまで進めてきたコンパクトシティ政策を深化させ、デジタル技術やデータ等の活用により市民生活の質や利便性の向上を図る政策のこと

な	農業基盤整備	田畑・水路・農道などの農業生産の基盤となる土地や施設を整備すること
	乗合タクシー	乗合バスのように乗合旅客を送迎するタクシーのこと。定時定期路線で運行する形態とそれ以外（予約制）の形態がある
	ノンステップバス	利用者の乗降をより容易にするため、地上から車両の床面までの地上高が65cm以下の車両であって、ステップ（階段）を解消したバス車両のこと
は	パーク&ライド	交通混雑を緩和するため、自動車を都市郊外の駐車場に駐車（パーク）して、鉄軌道やバスなどの公共交通機関に乗り換え（ライド）て、目的地まで行くシステム
	ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策を目的として、自然災害による被害予測の範囲や避難場所などの位置を表示した地図のこと
	パーソナルモビリティ	1～2人乗りのコンパクトな車両であり、歩行者と既存の乗り物の間を補完しうる個人向けの移動手段のこと
	パターンダイヤ	鉄道やバスが等間隔に発車するようなダイヤのこと
	バナーフラッグ	主に広告や宣伝のために使用される、布製やビニール製などの幕・旗のこと
	パノラマ景観	高原や田園等のように視線が横方向に広がり、周囲を見渡す面的な眺望のこと
	パブリックコメント	計画などの策定過程の公正の確保と透明性の向上を目的に、計画などの策定段階において、広く市民に対して計画案などを公表し、それに対して提出された意見・情報を考慮して行政の意思決定を行う方法
	バリアフリー	高齢者や障害者が社会生活を営む上で支障となる段差や仕切りなどの物理的な障壁（バリア）、あるいは人々の意識や制度による障壁などを取り除き、それらから解放（フリー）された安全・安心で高齢者や障害者にやさしい生活環境をつくること
	ビスタ景観	建築物や街路樹等が連続して規則正しく並び、視線を奥行き方向に誘導する軸線的な眺望のこと
	非線引き都市計画区域	市街化区域（都市計画区域内で、既に市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的にかつ計画的に市街化を図るべ



		き区域)と市街化調整区域(都市計画区域内で、市街化区域に対して市街化を抑制する区域)との区分を定めてない都市計画区域のこと
	フィーダーバス	駅から自宅までといった端末的な輸送をフィーダー輸送といい、それをバスで行っているもののこと
	フットパス	イギリスを発祥とする、森林や田園地帯、古い町並みや遺跡など地域の自然や歴史文化に親しみながら、歩くことを楽しむための歩行者専用の散歩道のこと
	ブラッシュアップ	今ある機能をより良いものに磨き上げること
	フラワーハンギングバスケット	四季折々の草花を花かごに立体的に植栽し、街路灯などに飾ることで都市空間に彩を添え、まちの賑わいを創出するもの
	防火・準防火地域	都市の安全、特に火災から人々の生命や財産を守るため、都市計画法で「防火地域」と「準防火地域」を指定し、指定された地域における建築については、耐火・防火のための制限がある
ま	マネジメント	資源や資産、リスクなどを管理し運用すること
	最寄り品小売業	最寄り品とは、身近なところで購入する傾向の強い商品のこと、飲食料品・医薬品・化粧品小売業などがある
	モニタリング指標	目標達成への進捗状況や対象の状態を定量的に把握・評価するために設定する具体的な数値・指標のこと
	モビリティマネジメント	一人ひとりのモビリティ(移動)が社会にも個人にも望ましい方向に、自発的に変化することを期待する取組で、情報提供などのコミュニケーションを中心とした手法を活用すること
や	ユニバーサルデザイン	障害者・高齢者・健常者の区別なしに、全ての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること
	用途地域	都市計画法の地域地区のひとつで、用途の混在を防ぐことを目的に、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもの
ら	リノベーション	既存の建物を改修することにより、以前の状態よりも性能を向上させたり、価値を高めたりすること
	緑化協定	市街地の緑豊かな環境を確保するため、一定の区域内の地権者全員の同意による緑化についての協定
わ	ワークショップ	様々な立場の人々が集まり、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場のこと

2 策定経過

年度	計画策定	検討委員会	市民参画等
R5	・第1回策定会議 (R5.12.19) ・第2回策定会議 (書面 R6.3.20)	・第1回検討委員会 (R5.12.21) ・第2回検討委員会 (R6.3.28)	・市民アンケート調査 (R6.2)
R6	・第3回策定会議 (R6.8.1) ・第4回策定会議 (R7.1.23)	・第3回検討委員会 (R6.8.8) ・第4回検討委員会 (R7.1.31)	・高校生 WEB アンケート調査 (R6.9) ・市民(学生)ワークショップの開催 (R6.8~R6.11、市内 5 箇所、全 10 回開催)
R7	・第5回策定会議 (R7.8.1) ・第6回策定会議 (R8.2.2)	・第5回検討委員会 (R7.8.19) ・第6回検討委員会 (R8.2.5)	・市内 6 箇所での地域別説明会の実施 (R7.9~R7.10) ・パブリックコメントの実施 (R7.12~R8.1)

3 検討委員会名簿

富山市都市マスタープラン検討委員会

区分	氏名	役職
学識経験者	久保田 善明	富山大学 教授
	姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所 教授
	本田 豊	富山大学 教授
	川本 聖一	富山国際大学 教授
	中村 真由美	富山大学 教授
	星川 圭介	富山県立大学 教授
	布目 大	(社)富山県宅地建物取引業協会 富山支部長
	田中 悟史	日本政策投資銀行富山事務所 所長
	上田 祐正	富山商工会議所 専務理事
市民	北岡 勝	富山市自治振興会連絡協議会 会長
関係行政機関	中谷 洋明 (佐藤 保之)	国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所 所長
	川上 孝裕 (金谷 英明)	富山県土木部 次長

注1) 表中の氏名、所属団体、役職等は、令和8年2月 第6回検討委員会時

注2) () 内は前任者

富山市都市マスタープラン

2026年(R8)3月

発行：富山市活力都市創造部都市計画課
〒930-8510 富山市新桜町7-38

